

金浜地区海岸災害復旧工事の「安全祈願祭」を開催！

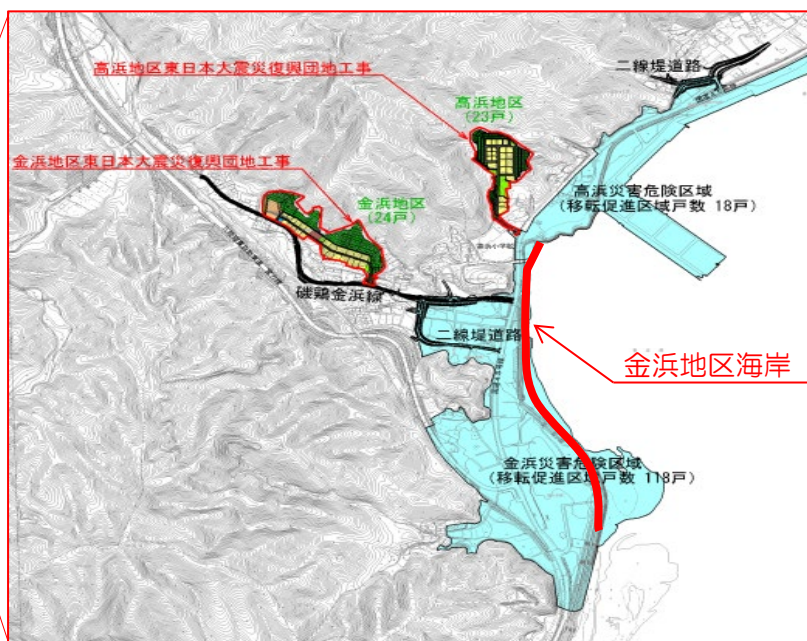
沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成26年6月23日、宮古市金浜の金浜海岸において、災害復旧工事の本格着手を前に安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭は、金浜地区海岸災害復旧（23災585号）工事並びに金浜地区海岸災害復旧（23災585号）その2工事の受注業者である株式会社本間組と大豊建設株式会社が主催し、工事関係者をはじめ、地権者の方々など約40名が出席して行われました。東日本大震災津波により犠牲になられた方々へ黙祷した後、工事の安全と早期完成を祈願しました。

安全祈願祭に当たり発注者を代表し、沿岸広域振興局の桐田教男副局長が、「関係者の皆様への感謝と早期復旧に向けて、一体となって取り組んでいきたい」と、挨拶しました。

位置図



安全祈願祭の様子



金浜地区海岸の概要

海岸背後の宮古市金浜地区は、国道45号やJR山田線が走り、住宅地や商業施設用地として活用されている地域でありましたが、平成23年3月11日の東日本大震災津波により、痛ましい甚大な被害を受けました。

海岸付近の津波痕跡では、痕跡高T.P.+13.0mと既設防潮堤高（T.P.+8.5m）を大きく越える津波であったことが確認されています。

※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ



被災前（平成22年3月）



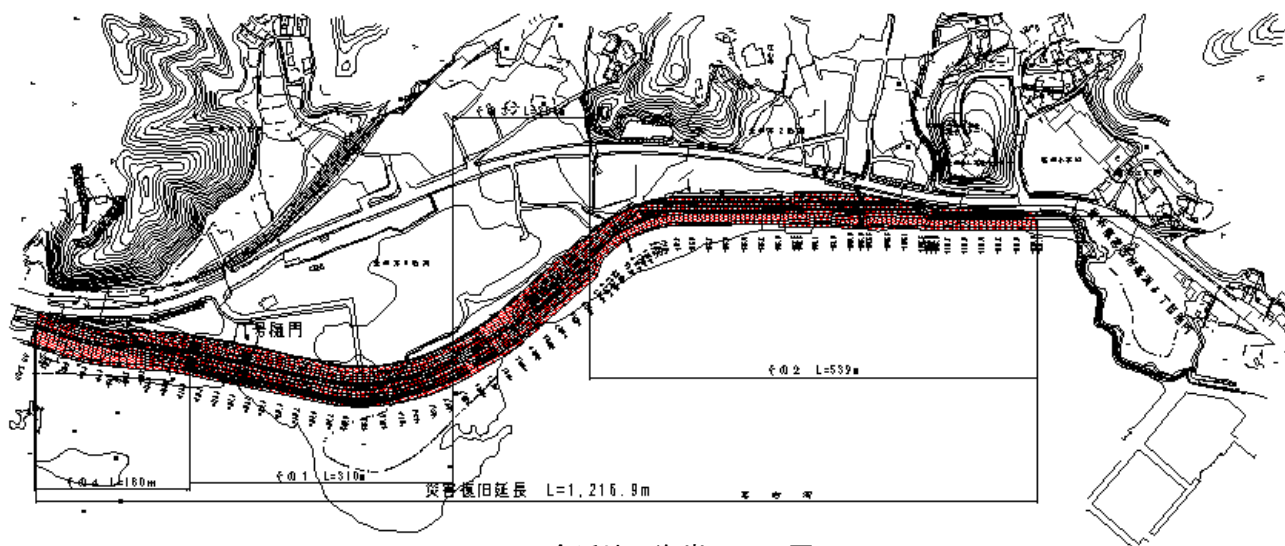
被災後（平成23年3月）

災害復旧工事の概要

県では、「岩手県津波防災技術専門委員会」における検討結果を踏まえ、宮古湾の新計画堤防高をT.P.+10.4mで復旧することとしました。

これらの災害復旧工事は、平成28年度の完成に向けて、鋭意進めています。

金浜地区災害復旧（23災585号）工事



金浜地区海岸の平面図